

香川県立ミュージアム運営協議会 令和4年度第1回会議の概要

日時 令和4年10月21日(金)

場所 香川県立ミュージアム

議事要旨

- (1) 令和3年度事業実績について
- (2) 香川県立ミュージアム中期活動計画の取組状況について
- (3) 香川県立ミュージアム令和4年度上半期の事業概要について
- (4) 意見交換

委員から、次のような意見等が提起された

○高校生、大学生がミュージアムを利用することは意義がある。利用の促進について工夫し、将来の利用の動機付けになるような形にもっていければと思う。

○昆虫の展示は、子どもが興味を持つ分野であると思うし、環境問題にもつながるギャラリー展だと思うので、継続して実施をお願いしたい。(「大人も楽しめる昆虫のファッションショー」に関して)

○ミュージアムと地域が一緒になって何かをするということは素晴らしい。ミュージアムがスポットを当ててくれたおかげで地域が元気になった感覚がある。(特別展「多度津ものがたり」に関して)

○地域との連携は大きな社会の流れ。今後とも重視していただきたい。

○瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「歴民」という)は県外の旅行関係の方からクオリティの高い博物館が無料であることに驚かれる。50周年を機に有料化を考えていただきたい。

○中学校の美術部と一緒に活動することはどうか。生徒の発表の場がないので、検討いただきたい。

○歴民は瀬戸内ギャラリーができてから分野横断的な展示の仕方が、見る方に新鮮に映ってくるのではないか。

○予算がないということはどういうことなんだろう。歴民は安全面でこれで大丈夫かと思う。ミュージアムは建ってから特別展示室の壁面がそのまま。ほつれやシミはなんとかならないか。

○高校の専門美術科のカリキュラムが変わる。新しい授業が2つ入ってくる。鑑賞教育と美術概論。美術概論は2年後に開講する。ミュージアムと高校が何か連携できないか期待している。

○美術家の立場から。県展の審査、本展も観覧しているが会場が暗い。毎年、要望しているが改善されない。予算をとっていただいて改善していただきたい。

○地域との関係については、ミュージアムに県民ギャラリー・貸しギャラリーを置いてほしい。そういうことがあれば地域との関わりが出来、ミュージアムが活性化するのではと思う。

- 運営協議会で SNS 活動をお願いしてきて、期待以上の成果を出していただいている。
- ミュージアムはバリアフリーを考えてつくられているので、障害者の方の入館者が増えないかと考えている。障害のある方は病院に来る機会が多いので、大きい病院にパンフレットを置くことを考えられてはどうか。
- 運営協議会から予算が認められないのはどういうことかと意見が出たことを予算部に伝えていただきたい。
- 2025（令和4）年にはサンポートに有名なホテルの進出が決まっている。外国人にも香川のいいところを売り込むいい立地だと思う。そういうことも視野に入れて話題性のある特別展を開催していただきたい。